

健診オプション検査

婦人科検診の経膈エコー検査

子宮がん検診で受ける「子宮頸部細胞診」では、子宮頸がんについては調べることができますが、女性に多い子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣のう腫などの子宮・卵巣の疾患は調べることができません。**経膈超音波(経膈エコー)検査**では、子宮や卵巣の中の状態まで詳しく観察することができるため、これらの疾患を発見することができます。

検査

検査時間は1～2分もあれば終わります。

また受診者も一緒にモニターを見ながら説明してもらえる場合もあります。

挿入時に違和感を感じるがありますが、

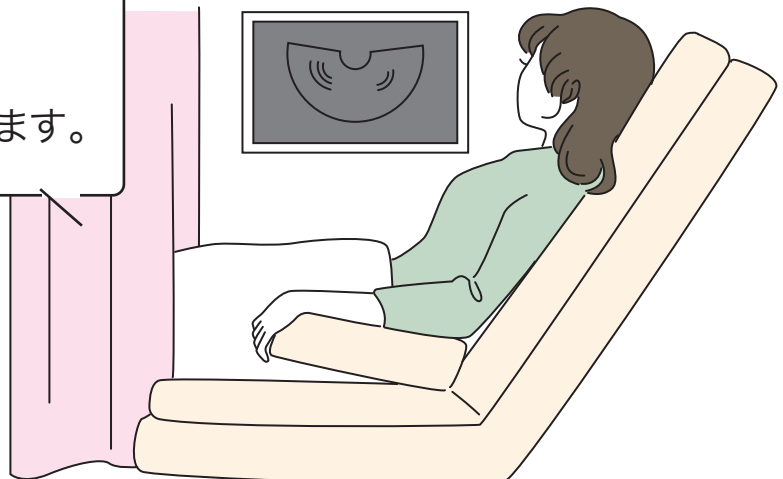
基本的に痛みや出血はほとんどありません。

経膈超音波検査で見つかる代表的な疾患

- 子宮筋腫
- 卵巣のう腫
- 子宮内膜症
- 子宮腺筋症
- 子宮内膜ポリープ
- 子宮・卵巣の悪性腫瘍など

子宮・卵巣の疾患の中には、悪化するまで自覚症状のない疾患もあります。そのため、年代にかかわらず、**全ての女性に定期的に受けてほしい検査**です。

※料金は子宮頸がん検診に
3,300円追加で受診できます。



野崎徳洲会病院
健診センター